

花巻市市民参画・協働推進委員会（第3回）会議録

日時 令和4年4月21日（木）午前10時00分～午前10時55分

場所 花巻市役所本館3階 302・303会議室

出席者 委員出席者13名 佐藤 良介（委員長・花巻商工会議所）、石黒 竜也（花巻農業協同組合）、細川 祥（花巻市社会福祉協議会）、盛山 タサ（花巻市老人クラブ連合会）、佐藤 洋子（花巻市地域婦人団体協議会）、太田 陽之（花巻市民活動ネットワーク協議会）、松田 治樹（花巻青年会議所）、関上 哲（富士大学教授）、佐藤 千代子（外川目地区コミュニティ会議）、菅原 房子（大瀬川活性化会議）、多田 優子（東和東部地区コミュニティ会議）、及川 かおり（公募委員）、高田 真理子（公募委員）

委員欠席者 2名 谷村 晴子（花巻市校長会）阿部 美智子（公募委員）

市側出席者 9名 岩間 裕子（総合政策部長）、富澤 秀和（総合計画策定室長）、村田 豊隆（総合計画策定室次長）、川村 芽衣（総合計画策定室主査）

【事務局】藤井 保宏（地域振興部長）、鈴木 淳子（地域づくり課長）、大竹 誠治（地域づくり課長補佐）、藤村 真由美（地域づくり課市民協働係長）、富松 大地（地域づくり課市民協働係主査）

傍聴者 1名

次第 1 開会

2 あいさつ

3 審議

(1) 市民参画にかかる事前評価について

(仮称)第2次花巻市まちづくり総合計画（長期ビジョン）（総合政策部秘書政策課総合計画策定室）

4 閉会

1 開会 （開会 午前10時00分）

事務局 地域づくり課の鈴木と申します。本日は、年度初めのお忙しいところ御出席くださ
(鈴木課長) いまして、ありがとうございます。

始めに、本委員会は、御承知のとおり議会前の開催が定例でございますが、今回は、次期総合計画策定に関します市民参画を来月から実施する予定でございますので、早めに開催させていただきました。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

開会に先立ち、委員会成立の御報告をいたします。本日は、花巻市市民参画協働推進委員会委員15名の方のうち、13名の御出席をいただいております。花巻市市民参画協働推進委員会規則第5条の規定により、半数以上の委員が出席しておりますので、委員会は成立しておりますことを御報告申し上げます。また、本委員会は、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針により、公開する会議となります。本日は会議の傍聴を希望される方がいらっしゃいますので、これを認めること、また、会議資料及び議事録を市ホームページで公開いたしますことを申し添えます。

なお、本日は、会議録自動作成システムを使用しております。御発言の際はマイクの御使用をお願いいたします。マイクの使い方について御説明申し上げます。マイク

の下にあるスイッチを押していただくと、録音が始まる合図として、緑色のランプが点灯いたします。それを確認して、お名前をおっしゃってから発言をお願いいたします。また発言が終了いたしましたら、スイッチを押していただき、録音終了の合図である赤いランプが点灯したのを確認願います。また新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、マスクの着用をお願いいたします。それでは、ただいまより、第3回花巻市市民参画協働推進委員会を開会いたします。初めに、佐藤委員長より御挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ

佐藤委員長

年度初めの御多用のところ、第3回委員会に御出席をいただきまして、ありがとうございます。昨年の5月以来、11か月ぶりの委員会ということでございますが、今年度もよろしく御協力をお願いいたします。

外を見ますと、花巻市内は桜満開でございます。桜の季節を迎えて非常にすがすがしい季節になりました。ただ、新型コロナウイルス感染拡大がまだまだ止まらないようでございますので、お互いに感染防止に努めながら、日常活動も続けていかなければならないと感じております。今日の会議も、新型コロナウイルス感染防止対策を整えた上での開催でございますので、よろしくお願ひします。

近年、市民参画ということで、市民の声、市民の意見を市政に反映させる動きが非常に強くなってきているので、当委員会の役割も増してきていると感じております。市民参画協働推進委員会の役割を認識して、会議を進めて参りますので、よろしくお願ひいたします。それでは有意義な委員会となるようお願ひを申し上げまして、開会の御挨拶といたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局

(鈴木課長)

ありがとうございました。次に、議事に入りますが、その前に、御手元の資料の補足修正について申し上げます。市民参画計画書の資料でございます。令和4年度から令和5年度市民参画計画書、4ページ目の市民参画協働推進職員チーム、評価内容のチェックが漏れておりました空欄になってございます。令和4月14日に職員チーム会議を開催いたしまして、総合評価が「適切である」という結果であったことをここで申し添えます。職員チーム会議の総合評価は「適切である」という結果でございましたので、補記をお願いいたします。それでは、議事に入らせていただきます。委員会規則第4条第2項により、議長は委員長となります。それでは佐藤委員長よろしくお願ひいたします。

3 審議

佐藤委員長

それでは、議長を務めさせていただきます。本日の審議といたしまして、市民参画に係る事前評価について、(仮称)第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンが1件ございますので、よろしく御審議をお願いいたします。令和4年4月18日付けで花巻市長上田東一様から当委員会に対しまして、市民参画に係る評価についての諮問をいただいております。花巻市市民参画協働推進委員会規則平成20年規則第18号第2条の規定に基づき、下記について諮問いたします。市民参画に係る事前評価について、(仮称)第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンについてよろしくお願ひをいたします。説明者及び同席者の方を御紹介いたします。まず説明者は、総合政策部秘書政策課長、富澤秀和さん、同席いただいております、総合政策部長、岩間裕子さん、総合政策部総合計画推進室次長、村田豊隆さん、同じく主査、川村芽衣さんでございます。よろしくお願ひいたします。それでは、富澤課長から御説明をお願ひいたします。

岩間部長

総合政策部長の岩間でございます。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。それでは、当部秘書政策課、総合計画策定室所管の（仮称）第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンについて、市民参画に係る事前評価をお願いいたします。

富澤課長

本日は委員の皆様の御手元に参考として、平成25年度に策定いたしました、平成26年度から令和5年度までの10年間を計画期間とする、花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンを配布させていただいておりますので、御参照ください。また、この計画は、10年間の長期ビジョンを3年、3年、4年とそれぞれ目標値を設定して事業等を掲載しております、中期プランを別途策定いたしておりますことも申し添えます。

それでは、（仮称）第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンについて、着座にて説明させていただきます。1-参画の対象、名称は（仮称）第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンでございます。目的は、本市の地域特性や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能な市政運営をするため、長期的な視点に立った市政運営の指針となる総合的かつ計画的な、総合計画を策定するものでございます。内容といたしまして、将来都市像、まちづくりの基本理念、将来都市像の実現に向けた政策施策、六つの分野の柱としております。参考までに、六つの分野についてご紹介します。一つ目はしごと、二つ目は暮らし、三つ目は健康・いのち、四つ目は子育て・人づくり、五つ目は地域づくり、六つ目は行政経営とさせていただいております。それから、人口見通し、財政指標、土地利用の基本方向及び重点施策推進プロジェクトで構成しようとするものでございます。区分は基本構想、計画期間は令和6年度から令和13年度までの8年間とするものでございます。

次に、2-選択した市民参画の方法は6つの方法を予定してございます。まず、方法①意向調査の実施として、市民アンケート調査を令和4年6月上旬から7月上旬までに1回の実施としてございます。周知方法と時期につきましては、広報はなまき令和4年6月1日号への掲載のほか、市ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどのSNS、FMはなまき、東和の有線放送での周知、対象者は市内全域の18歳以上の市民から無作為抽出により2,500人程度です。周知方法は、アンケートの郵送による通知を考えております。なお、対象者からの回答は、郵送またはインターネットによるものを予定してございます。アンケート結果につきましては、令和4年9月をめぐりに、市ホームページへの掲載を予定しております。方法や、時期を選択した理由といたしまして、市民の意見を幅広く聞き取ることができ、市民の視点に立って、各分野の現状と課題等を把握することができるとともに、その結果を素案作成に反映させるため、ワークショップ実施前の6月上旬から7月上旬としております。

次に、方法②ワークショップの実施として、まちづくり市民ワークショップを行います。一般部門として23歳以上の市民に7回程度、若者部門として高校生から22歳までの市民に3回程度を、令和4年7月中旬から令和5年2月上旬までに実施したいと考えてございます。周知方法は、広報はなまき令和4年6月1日号への掲載と、市ホームページ、SNS、FMはなまき、有線放送と考えております。また、一般部門は、各種団体等からの推薦20名程度のほか、他市町村で行われている例を参考に、無作為抽出による400人ほどのうち、その中から参加を希望される20人程度を合わせた40人程度を予定しています。若者部門につきましては、市内6つの高校から推薦された各3人の計18人と公募6人程度を加えた24人程度と考えております。ワークショップ参加者へは、開催日の2週間前以上前の6月上旬頃に、郵送で通知を予定してございます。結果公表は、令和5年3月に市ホームページの掲載を考えています。方法や時期を選択した理由としては、計画策定段階から市民が参画して、主体的

にまちづくりに関わることができるものとして考えた手法です。また、一般部門とは別に若者部門を実施して、若者の視点によるまちづくりに対する意見をお聞きし、集約できるよう設定したいと考えてございます。

次に、方法③でございます。その他適切と判断される方法として、各種団体等から意見聴取を考えてございます。時期は、令和4年10月から12月までです。対象者は、市内の農業、商工業、観光業、福祉関係団体、子育て支援団体等の10団体程度から意見を頂戴する予定です。周知方法は、出席者へは、開催日の2週間以上前に、郵送により通知することとしております。結果公表は、令和5年2月に市ホームページに掲載することとし、方法や時期を選択した理由としては、各種関係団体より専門的な意見を頂戴できるため、また、意見聴取結果を、素案作成に反映させるために、令和4年10月から12月という時期に設定したものでございます。

次に、方法④意見交換会の開催として、地域説明会を考えております。令和5年6月に市内4地域ごとに開催し、広報はなまき令和5年5月15日号への掲載のほか、市ホームページ、SNS、FMはなまき、有線放送による周知を予定いたします。対象は全市民とし、結果の公表は、市のホームページへの掲載を予定します。この方法は、多くの市民が意見を述べやすい方法と考えられますので、素案への反映や、調整期間を考慮して、開催時期を設定してございます。

次に、方法⑤パブリックコメントの実施として、第2次花巻市まちづくり総合計画素案のパブリックコメントをいたします。令和5年6月中旬から7月上旬までの1か月間、広報はなまき令和5年6月1日号への掲載と、市ホームページ、SNS、FMはなまき、有線放送により周知します。素案につきましては、市役所の秘書政策課、総務課のほか、各総合支所地域振興課、まなび学園、各振興センター、保健センター、各市立図書館に備え付けます。結果公表については、令和5年9月に市ホームページへの掲載を予定しております。多くの市民が意見を述べやすい方法として選択して、パブリックコメント後の、意見集約や、市民からの意見を計画に反映させるための検討期間を考慮して、時期を設定してございます。

次に、方法⑥審議会その他の附属機関における委員の公募といたしまして、令和5年7月に、花巻市地域自治推進委員会、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域、それぞれの地域協議会へ諮問をすることとしております。周知方法は、委員の方々に開催日の2週間以上前に郵送により通知することとしております。公共的団体から推薦された者、学識経験を有する者、公募による者を対象者とするものでございます。結果公表につきましては、令和5年8月に市ホームページにそれぞれの会議開催結果をもつての公表を予定します。方法や時期を選択した理由といたしまして、花巻市地域自治推進委員会条例第2条及び花巻市地域自治区設置条例第8条第2項の規定に、基本構想及び総合計画に関する事項については、意見を聴取する、諮問するということが定められておりますので、地域自治推進委員会からの意見聴取及び、各地域協議会への諮問が必要であることから、総合計画に関し、意見及び諮問に対する答申を計画に反映されることを考慮して時期を設定してございます。

最後に、3-計画条例等の全体スケジュールにつきまして、御説明申し上げました市民参画の方法①から⑥までを全体スケジュールに記載してございます。また、第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンについては、最終的には、令和5年9月の花巻市議会での議決をいただけるよう進めて参りますことを申し添えさせていただきます。説明は以上となります。よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

佐藤委員長

富澤課長より説明がございました。まず始めに参画の対象であります。(仮称)第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンについて、御質問ございましたら

お受けいたしたいと思います。

関上委員

市民参画の方法の、特にワークショップの実施について大変よく出来ている内容だと思っております。それで、一般部門と特に若者部門を分けたのはどういう経緯だったのか、これは多分、特色ある部分だとは思いますが、他地域にこういうケースはあるのか、その辺りの説明をよろしく願いいたします。

佐藤委員長

ただいまは、市民参画の方法のワークショップについての質問でございましたので、その前に計画の対象について、皆さんから御質問がございましたらお受けいたしたいと思います。皆さんの御手元には、現行の花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンの冊子をお渡しいたしておりますので、参考にしていただければと思います。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

佐藤委員長

はい。それでは、無いようでございますので、2番の選択した市民参画の方法について、御質問、御意見をお伺いいたしたいと思います。先ほどワークショップの実施について御質問がございましたので、富澤課長よりお願いいたします。

富澤課長

ワークショップについての御質問で、一般部門と若者部門を分けた理由ということでございます。まず、冒頭申し上げました現総合計画長期ビジョンの下には、中期プランがあり、現在は第3期中期プランであります。策定時の2年ほど前に、当委員会に諮問をさせていただきました。その際に、公募により若者の意見を聞こうといたしましたが、様々な理由から参加される方がいっしょになかったのが実情でございました。その反省を踏まえ今回は、向こう8年、やや将来に向けて、若者の意見を積極的に取り入れていきたいということで、まずは、市内の高校をお願いをして、実態として高校生の参加が得られるようにしたいと考えました。また、一般部門と分けた理由は、大体似たような年齢層の方々が集まることによって、より創造的な意見が出やすいのではないかとということで分けさせていただきました。

もう1点の御質問で、他地域での事例はあるのかということでございます。現総合計画長期ビジョン策定の際は、若者の意見として中学生の円卓会議を開催し、市内の各中学校から1名ずつであったと思いますが、参加いただき意見をいただきました。今回は、より施策に反映できるように、具体的な施策に結び付けることができるように、前回の中学生から、高校生と高校生以上ということで、年齢を上げて設定させていただきました。ほかの自治体では、高校生、大学生、中には小学生、中学生といった事例もありましたので、御回答をさせていただきます。

関上委員

大変すばらしいことだと思います。特に、若者がまちをつくっていくときに、主体的に話合いに参画、参加していくことについて、明確に仕組みづくりがされてあることは、若者にとっても非常に素晴らしいことだと思いますので、是非、今後ともこういう部分を推進していただきたいと考えております。よろしく願いいたします。以上です。

佐藤委員長

そのほか、まちづくり市民ワークショップについて、ほかに御質問、御意見はございますでしょうか。

高田委員

私もこのワークショップについて非常に素晴らしいなと拝見しておりました。今回の委員会の内容とは少しずれるかもしれませんが、教えていただける範囲で伺いたいと思っております。このワークショップを実施するに当たり、計画やワークショップの中身のつくり込みが非常に大事だと思っております。こちらについて、例えばワークショップの計画から実施までをどこかに委託するということがもしあるのであれば、可能な範囲で構いませんのでお聞かせください。よろしくお願いいたします。

村田次長

御質問いただきましたのは、専門的なところに委託等を検討しているかということでございます。ワークショップは専門的な知識や、各自治体でのノウハウも多分に取り入れて開催していきたいと考えております。それらを受け、計画策定の支援という形で外部委託も想定してございます。それからワークショップですので、全体を統括する総合的なファシリテーターも、重要なポジションだと捉えております。こちらにつきましては市内の方でワークショップを十分経験をなさっている方をお願いする方向で検討したいと考えているところです。そういった組合せの中でワークショップを進めていきたいと考えており、その中で、具体的なテーマや情報提供の内容を今後詰めながら、実施に向けて進めていきたいと考えています。

高田委員

おっしゃるとおり、市内にも大変力を持ってファシリテートできる方がいると思っていたので、外部にも委託し市内の方々とも一緒に実施というところで非常に安心しております。ありがとうございます。以上です。

富澤課長

少しだけ補足をさせていただきます。先ほど村田次長から、一部を外部委託いたしますと話がありました。こちらは4月1日からプロポーザルによって公募による業者選定を進めております。審査会等はこれからでございますが、現状では受注を希望する事業者が数社いらっしゃいますので、参考までにお知らせします。

また、今年度の予算は既に議決いただいております。計画策定については次年度までの債務負担もお認めいただいております。その理由としては、決定業者には、来年度まで最終的な計画策定後にデザインといったところまで受注していただくような考えであるためです。

佐藤委員長

ワークショップの実施に当たりましては外部に委託する、それから市内のファシリテーターも活用しながら、ワークショップを進めていくということでございます。ほかに御意見ございますでしょうか。

菅原委員

はい。菅原と申します。よろしくお願いいたします。市民アンケート調査についてですがよろしいでしょうか。

佐藤委員長

今は、ワークショップについてお諮りしています。よろしゅうございますか。太田委員、何かございますか。

太田委員

ワークショップについては、高田さんからお話があったように、当日の運営などがすごく重要だと思っております。花巻市でも地域おこし協力隊の方で、高校生と一緒に動こうという取組みをされている隊員の方もいらっしゃるの、そういう方々と一緒に組んで動くというのも、手触り感のある組み方ができると思っております。ありがとうございます。

佐藤委員長 はい。ほかに、ワークショップについて何か御質問、御意見ございませんでしょうか。ワークショップについては、よろしゅうございますか。

(発言するものなし)

佐藤委員長 では、先ほどお話がございました、意向調査の実施ということで、市民アンケート調査について、菅原委員お願いいたします。

菅原委員 市民アンケート調査について、花巻市のホームページに去年のアンケート結果が載っていたので見てみました。そうしましたら、2,000人の方を対象に調査をしまして、回収率を見たら40%ちょっとでした。そして、回答は年配の方が多く30代が少なく、若者の回収率が少ないと感じました。地域としては、街中の方の回収率が多くて、私のような大瀬川とか、大迫の方はパーセンテージにしたら0.何%という数字になっていました。そこで、今回はどれだけの回収率を目指しているのか、また無作為抽出となっていますけれども、どういう形でどれだけの範囲の人たちにアンケート調査を目指しているのか、それをお聞きしたいと思います。

佐藤委員長 それでは、市民アンケートについて回収率はどのくらいを目標にしているのか、それから地域のバランスをどう考えているかでお答えいただきたいと思います。

村田次長 はい、お答えさせていただきます。最初に回収率ですが、今回は、無作為抽出で2,500人ということで計画書には示しています。前回の総合計画策定時のアンケートの際には、おおむね50%ちょっと下回るぐらいの回収率ということでございましたので、今回は50%、せめて半数の方から御回答いただきたいと考えています。

そして、2,500人の無作為抽出でございますが、花巻市全域を基本的に想定しておりますので、特に偏りにつきましてはあまりないと考えています。その中で、地域、年代、男女別につきましては、無作為の中である程度を均等が図られると考えてございます。回収率が上がるような取組としては、なるべく回答される方の御負担にならないような分量を考えておりますが、今回の計画策定の参考にできるような設問ということで、現在、詰めている最中です。そういう視点で検討を進め、回収率が少しでも上がるような形で御協力いただきたいと考えております。

また、回答はインターネットでホームページからできるように予定しています。パソコンが使える方々も回答しやすいような環境を整えていきたいと考えています。

佐藤委員長 回収率50%を目標にして進めていくということですか。よろしいですか。ほかにこの市民アンケートについて何か御質問ございますか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

佐藤委員長 次に、方法③その他適切と判断される方法ということで、関係団体等意見聴取でございます。令和4年10月から12月まで、10団体程度に開催するということがありますが、これについて何か御質問、御意見ございますでしょうか。農業団体、商工業団体、観光業、福祉関係団体、子育て支援団体等となっていますが、特にございせんか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

- 佐藤委員長** 次に、④意見交換会の開催ということで、地域説明会を行うということですが、令和5年6月に計4回、開催するということでもあります。これは花巻、大迫、石鳥谷、東和でそれぞれ1ヶ所1回ずつの開催ということによろしいでしょうか。
これについて何か御質問、御意見ございますでしょうか。
- 太田委員** 地域説明会は4回、それぞれの地区で開催するということですが、どうしても参加出来ないといった地域の方々がいらっしゃるのではないかと思いますので、実施した様子を、例えば、後追いで配信するとか、オンラインでの参加も可能にするとか、そういう可能性は、今、御検討の中であるのでしょうか。
- 富澤課長** 当日参加出来ない方のための対応ということでございます。すみません、現状では、考えてございません。オンラインでの参加は意見のやりとりがきちんとできるのかという不安がございますが、例えば、後からの配信などについては、検討する余地があると思いますので、御意見として承らせていただきたいと思います。
- 佐藤委員長** ほかに地域説明会について御質問、御意見ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

(発言するものなし)
- 佐藤委員長** それでは方法⑤パブリックコメントの実施ということでございます。令和5年6月中旬から7月上旬1か月間、実施するということでもあります。これについて御質問、御意見ございますでしょうか。
- 高田委員** 周知方法についてはホームページとかSNSとか、様々な媒体を使って周知されるということですが、素案については備付けのみで対応されるという認識でよろしいでしょうか。
- 村田次長** 素案につきまして、今、想定しておりますのは、素案そのものと、素案のダイジェスト版となります概要について、ホームページにも合わせて掲載し、そこでも御覧いただけるような体制をとりたいと考えています。
- 高田委員** 特に私は日中働いているので、記載されているところへなかなか見に行けないと思っていました。そういった形で見られるようにしていただけると非常にありがたいと思っております。
- 佐藤委員長** ほかにパブリックコメントについて、御質問、御意見ございませんでしょうか。SNS等を活用しながら周知徹底を図るということでもあります。
- 関上委員** 先ほどからお伺いすると、各地域の方々の御意見も、市の活動に取り込むときに、例えば最近、(Microsoft) Teams や Zoom という媒体等を使った意見交換というのは結構あります。市役所等に大きい画面を用意していただいて、その場所に聴衆の方々、市民の方々に集まっていただいて、役所からそれぞれの支所に情報を配信し、話を展開して、直接意見を聞くようなこと、パブリックコメントに限ったことではない

と思いますが検討しておりますか。大学等では（Microsoft）Teams、Zoom 等を使って、既にそういうことをやっておりますので、市民の方々にもそういう配慮や工夫とか、その辺りは、今、御検討なさっておられるのでしょうか。それとも既にやっておられるのかどうか、お聞かせいただければと思います。

富澤課長

オンラインでの開催ということだと思います。市役所では各支所、市役所の出先機関については、委員長の後ろにある大きな画面がテレビ会議システムで、庁舎内での会議の際は、最大16チャンネルでやっております。外部としては、振興センターにも設置させていただいています。市民参画を行う上での1番の不安材料が、新型コロナウイルス感染症の影響でございまして、意見をお聞きする活動自体が出来なくなることは何とか避けなければいけないと思っています。これから決まる外部事業者とともに、オンラインも活用しながらの市民参画も検討しながら進めて参りたいと考えています。

佐藤委員長

オンラインによる市民参画の方法もこれから検討していくということです。ほかに御意見ございませんでしょうか。パブリックコメントについてよろしゅうございますか。

（発言する者なし）

佐藤委員長

はい、ほかに無いようでございますので、最後に方法⑥審議会その他の附属機関における委員の公募です。花巻市地域自治推進委員会から各地域協議会への諮問ということでございます。令和5年7月に花巻市自治推進委員会、大迫地域協議会、石鳥谷地域協議会、東和地域協議会で開催するのですが、これについて御質問、御意見ございますでしょうか。

（「なし。」の声あり。）

佐藤委員長

それでは市民参画の六つの方法について、御審議をいただきました。最後に3番の計画条例等の全体スケジュールが示されておりますが、これについて御質問、御意見ございませうか。この長期ビジョンは先ほどお話がございましたように、令和5年9月の花巻市議会において議決されるとのことであります。それに向けて市民参画が多くなっていくということですが、よろしいですか。

（「なし。」の声あり。）

佐藤委員長

はい。それでは、ただいま御審議いただきました、市民参画の方法についての評価に入りたいと思います。先ほどご報告ありましたように、市民参画協働推進職員チームの評価としては、適切であるという評価であったようでございます。当委員会としての評価をお願いいたしたいと思います。六つの市民参画の方法で市民参画を進めていくということでよろしいでしょうか。「適切である」という評価にいたしたいと思いますが、よろしゅうございますか。

（「異議なし。」の声あり。）

佐藤委員長

はい。それでは当委員会の評価といたしましても、「適切である」という総合評価にいたしたいと思います。

それでは、これで審議は終了いたしますが、第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンというのは、花巻のまちづくりの骨格になるビジョンだと思いますので、市民参画に十分に配慮しながら、計画の策定を進めていただければと思います。よろしくをお願いします。それでは、事務局のほうにお願いいたします。

鈴木課長

佐藤委員長並びに委員の皆様、御審議いただきまして、ありがとうございました。そのほか、皆様から何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

鈴木課長

次回の定例の委員会につきましてですが、5月25日水曜日午前10時から、場所はまなび学園を予定しております。諮問いたします案件がございますので、詳細は、追って、開催通知によりお知らせをいたします。よろしくお願い申し上げます。

4 閉会

鈴木課長

それでは、これもちまして本日の委員会を終了させていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

(閉会 午前10時55分)